

「認知症にやさしいまち大賞」受賞しました！

平成28年度より取り組んでいる「ごぼう総活躍のまちづくりプロジェクト」における「認知症になってもだれもが活躍できる地域づくり」の取り組みが評価され、NHK厚生文化事業団主催で今年度から設立された「認知症にやさしいまち大賞」を受賞しました。

特に評価された取り組みは、「スターチスの花言葉とともに伝える認知症の正しい理解の普及」と「藤田地区における認知症の本人から始まる地域のつながりの再生」です。

スターチスの花言葉とともに

スターチスは、御坊市が全国有数の生産量を誇る花で、花言葉は「変わらぬ心」「途絶えぬ記憶」です。

この花言葉をもとに、スターチスを「認知症になってもその人自身であることには変わらない」ということを伝えるシンボルの花にできないだろうか？と考え、介護事業所、スターチス生産農家、行政、そして認知症の本人たちがチームとなり、認知症への正しい理解の普及のためのグッズ制作を始めました。

このグッズが全国各地で配布され、また昨年4月に京都市で開催された「国際アルツハイマー学会国際会議」にて世界各国からの参加者の目にとまり、海外の方々から「素晴らしい取り組み。認知症の本人の活躍が我々を勇気づけてくれる」と絶賛されました。

今後も、地場産業と認知症施策とのコラボレーションにより、「認知症になっても地域で活躍できる1人」になれる地域づくりを目指します。



▲スターチスグッズ



▲海外の人たちに紹介



▲認知症の本人たちがスターチス収穫